

鷲見氏関連史跡の第2回視察報告！

新型コロナの流行が少し下火になってきた令和4年6月19日、高鷲文化財保護協会主催の『第2回鷲見氏関連視察研修』があった。

当日は、朝からとても良い天気、テレビの予報では30度以上になると言っていた。午前8時半に高鷲振興事務所前に集合、参加者は総勢12名であり、その年齢はいろいろであった。今回の報告は、七十代の参加者からいただいたものを基本とし、会員に本会が何をしているのかを第47号に続いてお知らせします。

上村強氏運転のマイクロバスと水上精榮氏運転の車で研修を開始した。行程は、最初に六ツ城に登り、次に阿千葉城へ登り、その後大和の『フィールドミュージアムよぶこどり』で昼食をとり、篠脇城へ登った。さらに八幡の愛宕公園にある五人塚、白鳥二日町にある二日町城を見学して総ての研修を終えた。以下その内容を簡単にお知らせします。

六ツ城址

六ツ城は、東氏が鷲見氏の侵入を防ぐため、譜代の猪俣氏に命じて牛道川と阿多岐川が合流する地点に城を築いた野添城の別名であります。天文9(1540)年に越前国(福井県)朝倉氏の軍勢が郡上に侵入し、東氏の北方防衛線である前洞城や阿千葉城を攻略したが、六ツ城は防備が堅く、また城の地形も険しいので朝倉勢は攻撃を思いとどまり、東氏の本拠地篠脇城へ向かった。敵の背後から猪俣氏が追撃し、朝倉勢敗走の原因を作り大いに戦功をあげたそうです。

朝倉勢が攻撃をしなかった六ツ城へ登る途中、70代後半の私は足がすり、息もゼイゼイして若い参加者の手を借りてやっと登ることが出来ました。城跡の本丸

跡は、阿千葉城や篠脇城のように主郭は広くなく、中世の砦という感想を持ちました。それにしても、皆さんには大変ご迷惑をかけました。ここで、全員の集合写真。



阿千葉城址

阿千葉城は、東胤行が承久の乱(1221年)の戦功によって郡上の山田庄を加領されたが、嫡子の東行氏を赴かせ、胤行は宗家(千葉氏)の安泰を見届けた後、美濃国に向かい郡上入部を図った。阿千葉城には胤行、行氏、時氏、氏村の4代90年間居城していたが、正和元(1312)年、東氏が篠脇城に移ったので鷲見氏が寄騎として入城した。しかし、天文10(1541)年、鷲見貞保が5代篠脇城主東常頭に従わなかったため東氏との戦いとなり、鷲見貞保は自害して果てました。

阿千葉城に行くには、中津屋と剣の途中にある採石場の前にある宝暦騒動の傘連判状横の山道を登ると本丸に着きます。私は以前に阿千葉城の調査のために登ったことがあります、足も悲鳴を上げていましたので、六ツ城から鷲見氏最大の領地の境にある白鳥町の和田川を乗用車の中から見学し、昼食をとる「よぶこどり」へ行き、皆さんを待った。

昼食 よぶこどり

「よぶこどり」は、大和古今伝授の里フィールドミュージアムの中にあり、以前は売店があった所で、現在は歌人の島津文庫を展示したレストカフェになっている。私たちは予約しておいた昼食の定食をとり、一時の休息をした。午後は、目の前にある篠脇城祉研修である。そして「よぶこどり」では、お客さんのためにアマチュアバンドの生演奏があるサプライズがあった。



篠脇城祉

東氏は、氏村の時に、鷲見氏の南進と越前朝倉勢の攻撃から阿千葉城が耐えられないと思い、牧谷の篠脇城を本拠とした。康正元（1455）年七代城主の弟東常縁が、守護代の斎藤妙椿が郡上を攻め、攻略された篠脇城とその領地を和歌で取り戻した。天文9（1540）年と10年に朝倉勢が侵攻し、決死の防戦でこれを撃退したが、居館、侍屋敷など城下は灰塵に帰して復興も容易でなく、下剋上の世と遠藤氏の台頭もあって東殿山城を築いて本拠を移した。本丸へはよ「ぶこどり」から約30分かかり、途中ヒルが出るという。高齢者の参加者は麓の国史跡になっている東氏居館跡で待った。篠脇城の特徴は、主郭部の周囲を取り巻くように38本の堅堀があり朝倉氏の居城と似ていると参加者の一人が丁寧に説明してくれた。

五人塚

天正15（1587）年、秀吉によって郡上から追い出された遠藤氏は、慶隆になって八幡城を奪回しようと飛騨の金森氏に援軍を得て、八幡城主稲葉貞通に戦いを挑んだ。一時和議が成立したが、稲葉貞通は和議を聞き入れず慶隆軍を攻撃した。慶隆軍は大混乱となり、家臣の鷲見忠左衛門ら5人の働きによって無事金森軍へ逃げることができた。寛文12（1671）年、六代藩主遠藤常友はこの5人の勲功を顕彰するため愛宕山の陣の跡に塚を建てた。塚は郡上市水道局の側にあり、ここに鷲見家の祖先・鷲見郷の祖が眠っているところだと思い、参加者全員で手を合わせてお祈りしました。



参加者全員で手を合わせてお祈りしました。

二日町城祉

東益之は篠脇城主で、北方の鷲見氏が衰え始めると、二日町城を築いて次男の安東氏世を置いて守らせた。氏世は長滝寺・鷲見氏を監視し、ついには鷲見氏の領地を競望し押領しようとしたが、応永7（1400）年幕府は土岐氏に命じてこれを中止させた。

二日町城は越前と美濃の国境から東へ伸びた尾根の一つ郡上市白鳥町二日町に築かれた山城で、城跡までは車で登れたので全員主郭まで登った。主郭まで登ると白鳥町の町並みが眼下に見え、鳥がさえざり、何だか城主になった気分がした。なお、大きな堅堀があった。



午後四時半頃高鷲振興事務所へ帰り、有意義な研修を無事終えることができました。お疲れ様でした。また有難うございました。

お知らせ

たかす文化財保護協会では、次のことを主催しています。会員の皆様の参加を願う。

- 1 古文書を読もまい会(第1/第3土曜日13:30～、町民センター)
- 2 鷲見氏・鷲見郷創立820年祭準備委員会
- 3 町民センターの日・開拓記念館の日(毎週水曜日、9:00～)